

平成 30 年 5 月 24 日
公益財団法人西日本国際財団

外国人留学生のための 沖ノ島世界遺産等体験・見学研修会の実施報告

5 月 23 日(水)に、外国人留学生、日本人参加者等 25 名で、日本の伝統・文化理解のための体験・研修会として、福岡県宗像市にある宗像大社を参拝・見学し、沖ノ島世界遺産についての知識を深めるとともに、その近くにある鎮国寺、出光佐三生家、勝屋酒蔵等を見学しました。沖ノ島世界遺産は昨年 7 月にユネスコが登録を認めた沖ノ島などの 8 遺産で日本古代の祭祀に関する貴重な文化遺産です。

留学生達は朝 9 時に JR 教育大前駅に集合、歩いて赤間街道を散策し、宗像大社のお神酒を製造している勝屋酒造、出光佐三の生家等を見学しました。昼食後は宗像大社を正式に参拝した後、宗像神官による本殿や第二宮・第三宮、神宝館を見学、神宝館では沖ノ島で発見された金製指輪や金銅製龍頭等の国宝を観賞しました。

次に鎮国寺を見学、立部住職にお寺の由来や仏像等についてご説明いただきました。鎮国寺でも留学生たちの活発な質問が飛び交っていました。

日本の精神文化は神道と仏教が深く関わっており、世界遺産となった宗像大社だけでなく宗像大社とも深く関係する鎮国寺も同時に見学することで留学生たちは幾分かでも日本文化の神髄に触れることができたのではないかと思います。

